

# 前回<sup>12</sup>の補足

2019年4月20日 5:36

717°

## Examples

$S_2$  :  $e, (1,2),$

2種

$S_3$  :  $e, (1,2), (1,2,3),$

3種

$S_4$  :  $e, (1,2), (1,2,3), (1,2,3,4),$   
 $(1,2)(3,4)$

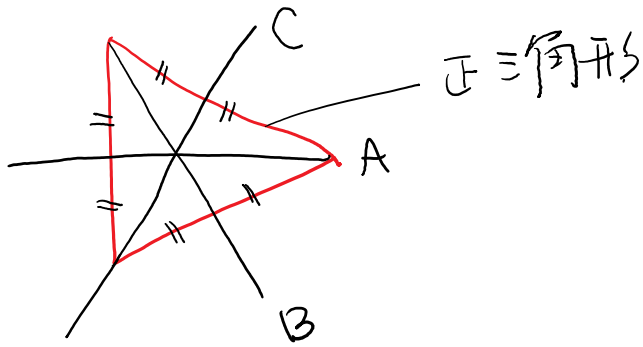
5種

$S_5$  :  $e, (1,2), (1,2,3), (1,2,3,4), (1,2,3,4,5)$   
 $(1,2)(3,4), (1,2)(3,4,5)$

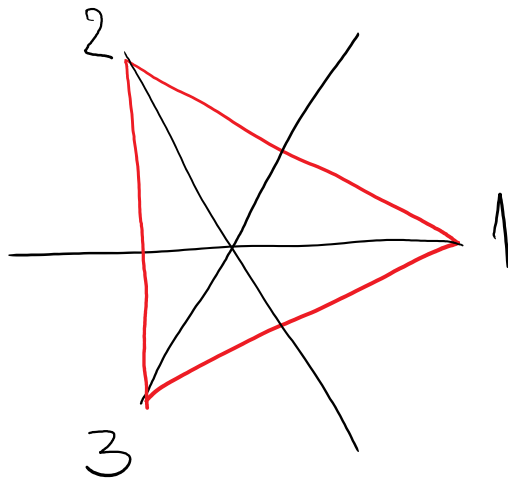
7種

# 鏡映群

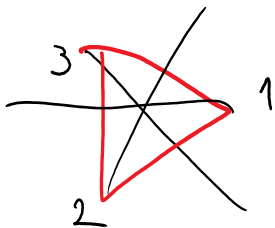
2019年4月9日 18:58



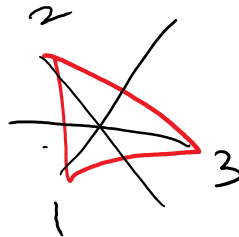
A, B, Cに關する鏡映



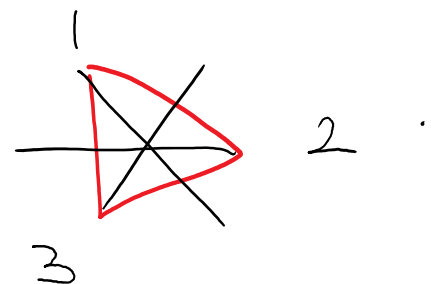
A)



B)



C)



正三角形の鏡映  $\longrightarrow$   $\{1, 2, 3\}$  の入れかえ  
 ↳ 対称交換

$$A \longmapsto \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ & 1 & 3 & 2 \end{pmatrix}$$

$$B \longmapsto \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 3 & 2 & 1 \end{pmatrix}$$

$$C \longmapsto \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 1 & 3 \end{pmatrix}$$

# 対応

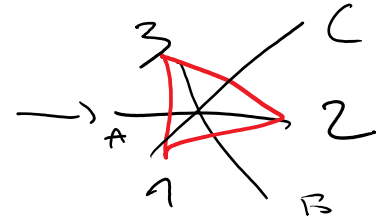
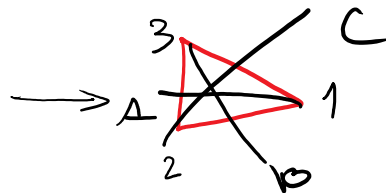
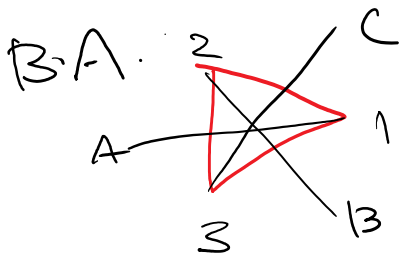
2019年4月11日 12:18

$$A \mapsto \sigma_2$$

$$B \mapsto \sigma_2 \sigma_1 \sigma_2 = \sigma_1 \sigma_2 \sigma_1$$

$$C \mapsto \sigma_1$$

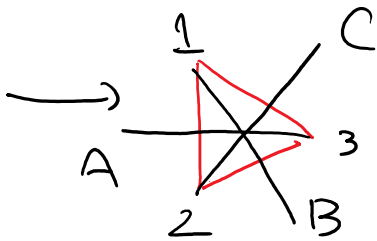
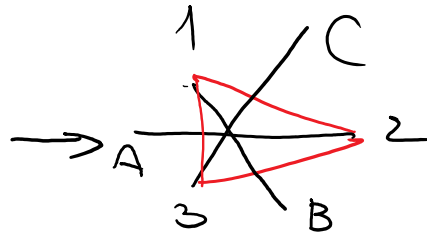
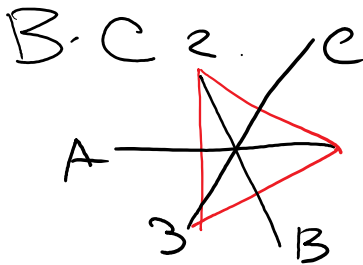
積はうまくいく、正しいか?  
(同型対応か?)



$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 3 & 1 & 2 \end{pmatrix}$$

$$= \sigma_2 \sigma_1$$

$$= \underbrace{\sigma_2 \sigma_1 \sigma_2}_{\uparrow B} \cdot \underbrace{\sigma_2}_{\uparrow A}$$



Q7. この場合もうまくいく、正しいか?

$\mathbb{R}^3$   
 $\parallel$  同型  
 $f: \{ \text{三角形の鏡映} \} \rightarrow S_3$   
 $A, B, C, AB, \dots$        $\sigma_1, \sigma_2, \dots$

$$f(A) = \sigma_2$$

$$f(B) = \sigma_2 \sigma_1 \sigma_2 = \sigma_1 \sigma_2 \sigma_1$$

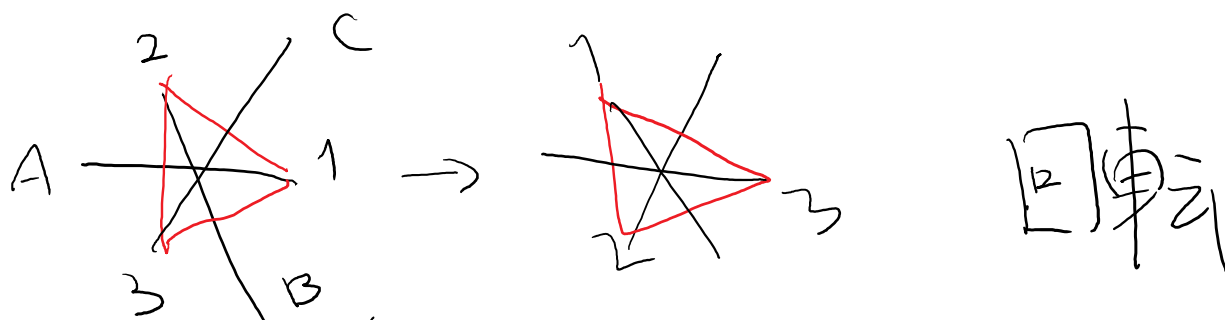
$$f(C) = \sigma_1$$

$$\underline{f(X \cdot Y) = f(X) f(Y)}$$

結論

正三角形の対称性 = あみだくじの置換

$u_3 u_3$  (対称性)  
 があみだくじの正対  
 称群に写す。



回転

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 1 \end{pmatrix} = 0, 1, 2$$

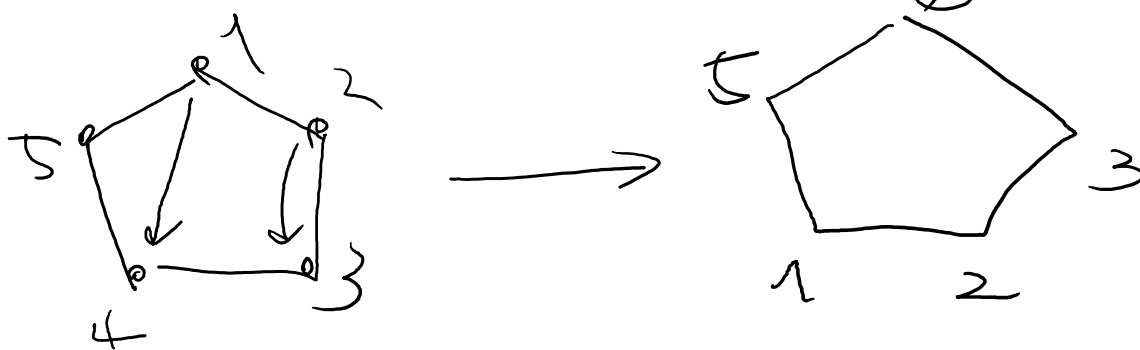
回転  
鏡

正三角形の鏡映  $\rightsquigarrow$  正三角形を保つ  
合成 変換

最初の結論が.

$R_n$ : 正  $n$  角形を保つ変換

$\mathbb{Z}_n$  の対称性



Q.8  $R_n$  は  $n < \infty$  があるか?

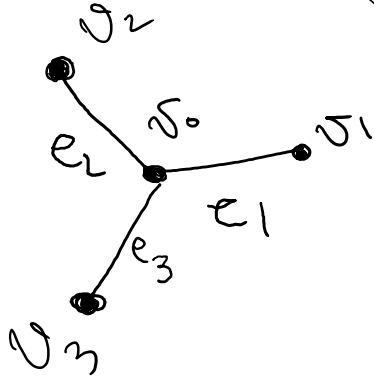
1, 2, ...,  $n$  は  $n$  通りの関係が決定  
いる

# グラフ理論

2019年4月11日 14:58

グラフ:  $\{V, E\}$   $\mathcal{A}$  の集合

例



頂点の集合

$$V = \{v_0, v_1, v_2, v_3\}$$

$$E = \{e_1, e_2, e_3\}$$

$$e_i = v_0 v_i$$

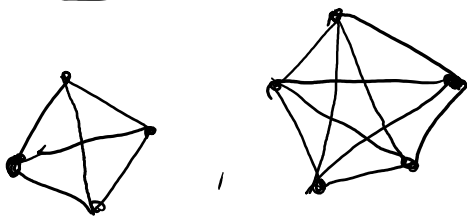
## 次数

$v \in V, \text{deg}(v) = v$  から出発する  $\mathcal{A}$  の数

例  $\triangle$ : 各頂点が次数 2 のグラフ

例 完全グラフ  $K_n$ : 頂点:  $n$ 。

$\mathcal{A}$ : 全ての頂点を結ぶ。



$\mathcal{A}$  どういふ文, 2112 よい.

正則グラフ ... 全ての  $v \in V$  に対して  $\text{deg}(v)$  一定

## 向き

$v_1 \rightarrow v_2$  各  $\mathcal{A}$  に向きがある場合  
有向グラフという

二部グラフ.

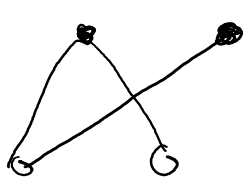
2019年4月15日 8:53

二部グラフ.

$$V = A \cup B$$

↑ 交わりなし.

$E$ : 全ての  $E$  は,  $A$  の頂点と  $B$  の頂点の間に存在する



A

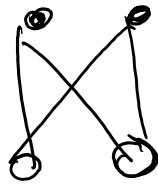
B

二部グラフ.

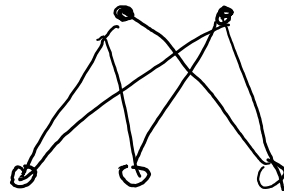
$K_{m,m}$ : 完全二部グラフ

( $\#A = m, \#B = m$ )

$K_{2,2}$



$K_{2,3}$

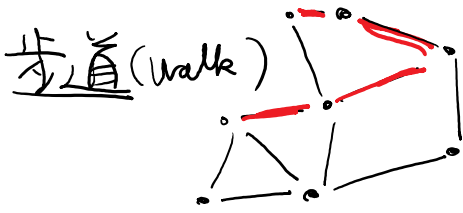


グラフ理論の応用.

ネットワーク (インターネットなど)

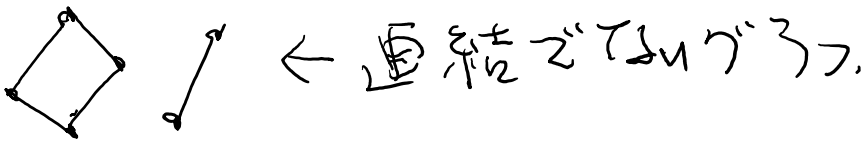
# グラフ

2019年4月14日 17:18



歩道(walk) 連結した事のこと

連結グラフ 任意の頂点がある歩道によって結ばれる。



多重辺

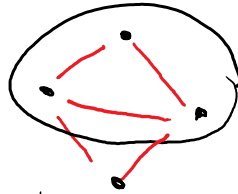


ループ



ミニカット ... ループ ...

サイクル(閉)路



サイクル

サイクルになる!

内径 ... グラフ  $G$  の最短のサイクルの長さ。

$\{V_1, E_1\}$ ,  $\{V_2, E_2\}$  がグラフ。  
 $G_1$                        $G_2$

$G_1$  と  $G_2$  が同形。

$V_1 \rightarrow V_2$  全単射. 1:1

$E_1 \rightarrow E_2$  (全単射) 対応



# グラフ理論の公式

2019年4月15日 5:49

## 正則グラフの公式

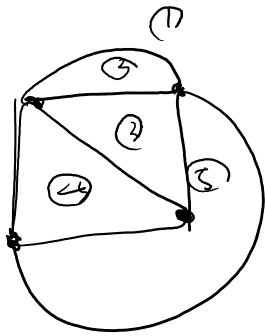
頂点数  $n$ , 次数  $d$ , 辺の数  $m$

$$\frac{nd}{2} = m \quad \frac{n(n-1)}{2} = n \left( \frac{1}{2} \text{辺} \right)$$

よって、頂点数が奇数、次数が奇数の  
正則グラフは存在しない。

## オイラーの公式

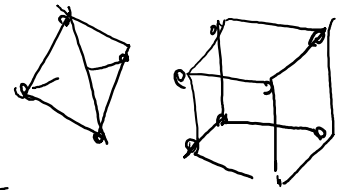
$G$ : 平面グラフ,  $n$ :  $G$  の頂点数  
 $m$ :  $G$  の辺の数,  $f$ :  $G$  の領域の数  
 $n - m + f = 2$



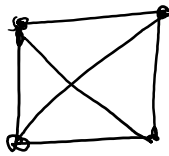
$$n = 4, \quad m = 7, \quad f = 5$$

$$4 - 7 + 5 = 2$$

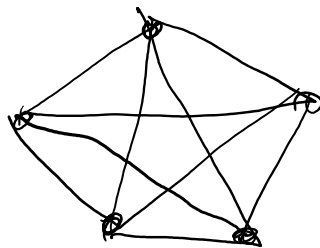
Q8 ポラトグラフは平面グラフである  
 正しいか?



Q9  $K_4$  は平面グラフである



定理  $K_5$  は平面グラフではない



$K_5$  が平面グラフではない。



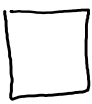

$$n = 5, \quad m = \frac{5 \cdot 4}{2} = 10, \quad d = 4$$

$$5 - 10 + f = 2$$

$$f = 7$$

# $K_5$ は "平面的" ではない証明

2019年4月15日 8:08

					$K_5$ は
	2	3	4	5	3-2-1-0-1-0
#	0	$m_3$	$m_4$	$m_5$	2-1 $m_2 = 0$

$$3m_3 + 4m_4 + 5m_5 + \dots = 2m$$

↑ 左側が説明だよ。

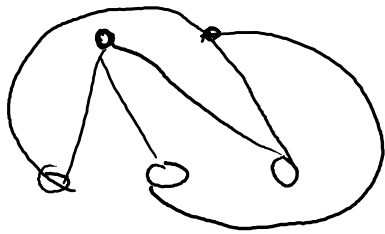
$$2m \geq 3(m_3 + m_4 + \dots)$$

$$= 3f$$

$$2m \geq 3f$$

$$m = 10 \quad f = 7 \quad \text{矛盾} //$$

$K_{2,3}$  は "平面的" かどうか



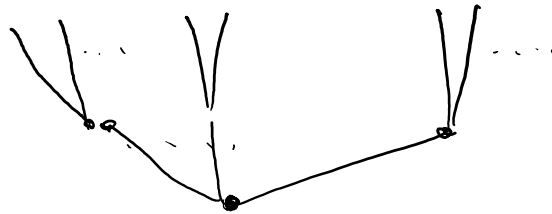
Q  $K_{3,3}$  は "平面的" ではないか?

# 4-アグラフ

2019年4月15日 9:07

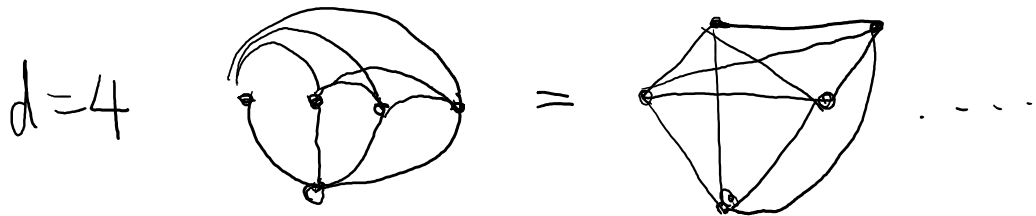
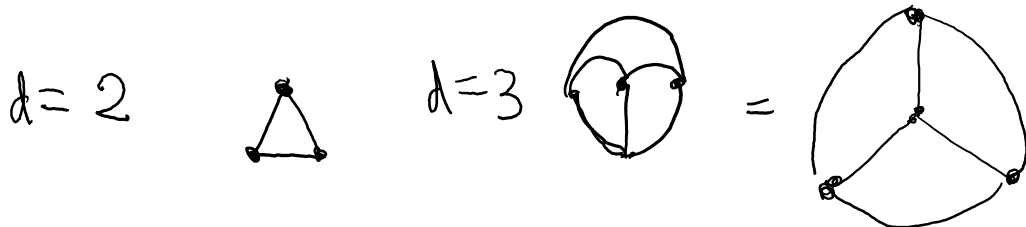
定義(4-アグラフ)

次数  $d$ . 内周  $2g+1$  の正則グラフ



$$\begin{aligned} \text{頂点数 } n &= 1 + d + d(d-1) \\ &\quad + \dots + d(d-1)^{g-1} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} g &= 1 \\ n &= d+1 \end{aligned}$$



Q10 正則グラフなら

$$\frac{2n}{\text{頂点数}} \frac{d}{\text{次数}} = \frac{M}{\text{区画数}}$$

2'あること  
を示せ。

# 問題

2019年4月18日 5:56

Q.11  $g=1$  のとき, 平面グラフとなるのは,  $n=2, 3$  のときのみである: ヒセル。

オイラーの等式, 前の Q.  
内周の定義用いる。  
( $n$  等式見替) と誤ると  
ではなし

$$g=2 \text{ のとき}$$

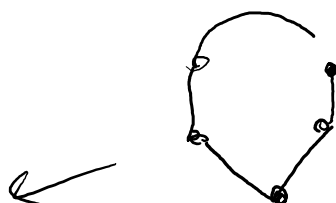
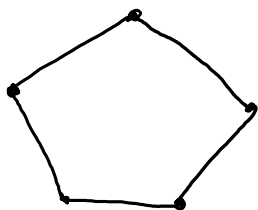
$$n = 1 + d^2$$

定理 内周は, 次数が  $d$  の  $4$ -アグラフ  
が存在するならば,  $d=2, 3, 7, 57$

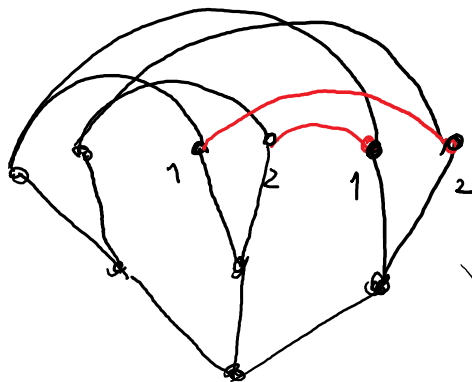
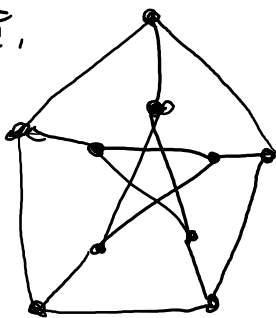
# 4-アグラフ

2019年4月20日 10:35

$d=2$  の場合

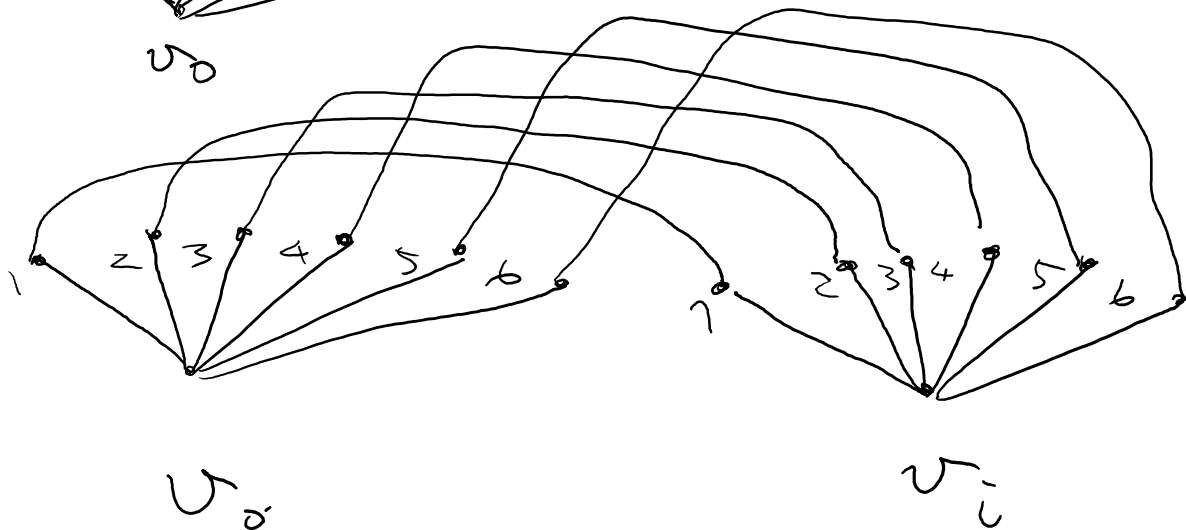
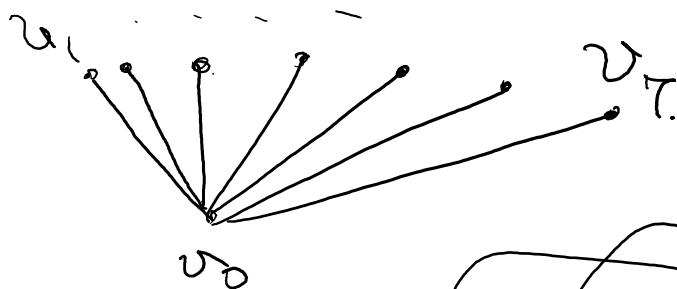


$d=3$  の場合

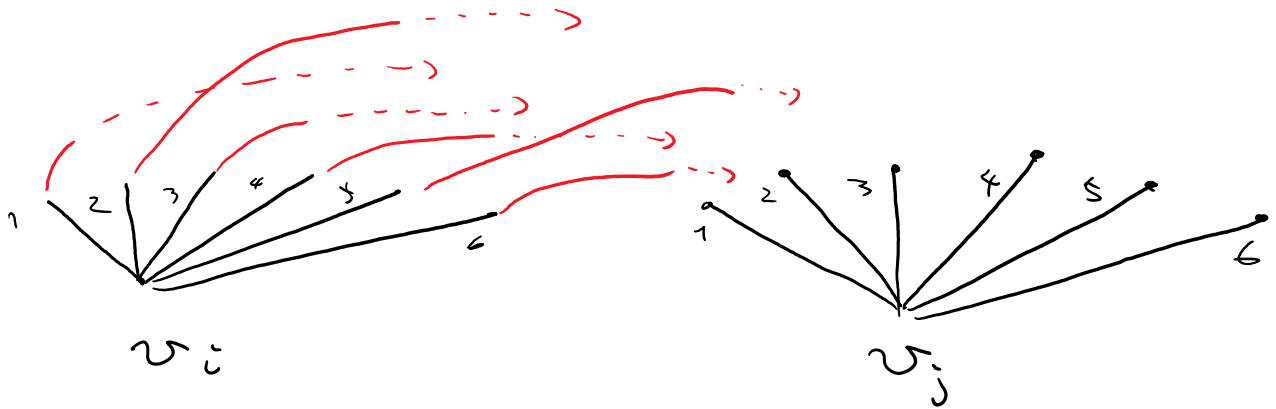


$d=7$  の場合. ホフマン-シングルトングラフ

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 \\ 2 & 1 \end{pmatrix} \in S_2$$



$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 \\ 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 \end{pmatrix}$$



1 2 3 ... 6 の置換  $\sigma_{ij} \in S_6$  になる。  
 いくつかの条件を付けた。

- $k$  は  $k$  に  $\rightarrow$  する。数字は固定される。
- ( $\vdots$ ) 他に...

$$(v_i, v_j) \longrightarrow \sigma_{ij} \in S_6$$

が「外部自己同型」になっている!

$d=5$  の 4-アグラフが存在するかどうか  
 知られていない。